設 計 課補 道路維持修繕工事 長 長 課 長 設 計 者 審査者 佐 佐 年 月 令 和 7 年 5 月 В В ○阿久根出水線 施工延長 L=49.0m 舗装工 1式 安全施設工 1式 工 묵 工事番号 年 第 雑工 1式 仮設工 1式 〇青竜線 施工延長 L=21.0m # 市道 阿久根出水線,青竜線,琴平中央線 舗装工 1式 事 線 路 〇琴平中央線 施工延長 L=40.0m 舗装工 1式 施行位置 阿久根市 地内 西目·山下·琴平町 概 工 事 名 令和7年度 道路維持修繕事業 阿久根出水線外2線 道路舗装工事 要 日間 期 施行方法 請負 135 直営 エ まで 支 出 科 度 会 計 款 項 節 目 目 年 額 摘 要 区 分 金 計 額 円 設 市道阿久根出水線について、路面の劣化が著しくひび割れやわだち掘れがあり通行に支障を来していることから、舗装打ち換えを実施し、円滑な通行と安 全性向上を図るものである。 其 の 市道青竜線について、路面の劣化が著しくひび割れやわだち掘れがあり通行に支障を来していることから、オーバーレイ舗装を実施し、円滑な通行と安全性向 上を図るものである 市道琴平中央線について、路面に段差が生じ通行に支障をきたしていることから、オーバーレイ舗装により段差を解消しようとするものである。

費用	金 額		備 考
事業費		円	
工事費		円	
本工事費		円	消費税等 工事価格 円 相当額 円
附带工事費			
測量及び試験費			
用地費 及び 補償費			
換地 諸費 又は権利 交換 諸費			
事 務 費			
事 務 雑 費			
工 事 雑 費			

	設計	概要
工 事 名	令和7年度道路維持修繕事業阿久根出水線外2線	道路舗装工事
工事箇所	阿久根市 西目・山下・琴平町 地内	
(今回)		(前回)
阿久根出水線 L=49	9. Om	
青竜線 L=21.0m		
琴平中央線 L=40.0)m	

エ	事 設 計 書	
設計書総括情報		
事務所名	阿久根市	
設計 書名	実施設計書	
事 業 名	道路維持修繕事業	
積算総括情報		
諸経費体系	A 公共	
適用単価区分	1 実施単価	
単価適用地区	31 北薩③	
単 価 適 用 日	0 令和 7年 5月 1日	
積算条件/諸経費情報	【当世代】	【前世代】
前払率(%) 工種 施工地域 現場環境改善費 消費税税率 契約保証	00%(前払金保証対象外) 06 舗装 03 一般影響有り(2)現道4工種 07 計上無し 04 消費税税率:10% 03 無保証	

費目・工種・施工名称	など数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
本工事費								X1000			
舗装工								Y1140			
レベル1											
舗装打ち換え工								SQ155	0		
表層工											
密度 2.35 t/m3, タックコート		000	2					#七十二	0001日末		
As合材 200 t 未満/工事 舗装打ち換え工	(理吊吁削竹)	228	m²					<u>施工円訳(</u> SQ155)-0001号表 0		
基層工								20100	O		
密度 2.35 t/m3, プライムニ			***************************************	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************				
As合材 200 t 未満/工事((通常時間帯)	228	m²)-0002号表		
表層工オーバーレイ								SQ155	0		
密度 2.35 t/m3, タックコート	N PK−4										
As合材 200 t 未満/工事(81	m²					施工内訳()-0003号表		
表層工								SQ155	0		
オーバーレイ 密度 2.35 t/m3, タックコート	. DV 4										
As合材 200 t 未満/工事(22	m^2					施丁内訳()-0004号表		
不陸整正	(2011) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							SQ149	0		
粒調砕石 M-30											
補足材料平均厚さ 29mml	以上34mm未満	000	$ m^2 $					#七十二) 0005 ∃ ≠		
安全施設工		228	m					<u>施工内訳(</u> Y1140)-0005号表		
レベル1								11140			
177 元 65	・ (工手)							07001	0		
区画線(溶融式)設置工 線色:白色	. (于野)							S7001	0		
実線 施工幅 15cm	******						***************************************				
) () () () () () () () () () (68	m					施工内訳()-0006号表		
06-000000001-40			に	+	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·	

06-0000000001-40

	費目・工種・施工名称など	数	量 単 位	単	価	金	額		備	考
	区画線(溶融式)設置工(手動)							S7001	0	
	線色:白色									
	破線 施工幅 15㎝	20	m					梅丁内部0	-0007号表	
	区画線(溶融式)設置工(手動)	20	111					S7001) ()	
	線色:白色							5.001	O .	
	矢印・記号・文字 施工幅 15㎝換算	***************************************	***************************************	***************************************	********	***************************************	******			
		11	m			•			-0008号表	
	区画線(溶融式)設置工(手動)							S7001	0	
	線色:白色									
	矢印・記号・文字 施工幅 15㎝換算	13	m					梅丁内記0	-0008号表	
雑工		13	111					Y1154	7 0000万衣	
ТЕ —	レベル 1							11101		
	_				***************************************	***************************************				
	アスファルト舗装版切断							SQZ185	0	
	7スファルト舗装版厚15cm以下									
		134	****					按工内部()	-0009号表	
		134	m					<u>ルロエアリ前への</u> SQZ184	1 <u>-0009万衣</u> ()	
	舗装版厚15cm以下,障害等無し							542101	O .	
	振動騒音対策不要 積込作業有り				***************************************					
		228	m²						-0010号表	
	殼運搬舗装版破砕							SQZ101	0	
	運搬距離5.5km超7.0km以下, DID無し									
	機械積込(小規模土工)	23	m3					 施工内訳0)_0011 是実	
	*	43	1110					#0042	, UUII <u> </u>	
								,, , , , , ,		
	産業廃棄物受入料							S9910	0 *	
	アスファルト塊(掘削)									
	産業廃棄物税上乗せ相当額を含む	23	m3						-0012号表	
	0000001 40			1					7 0014 7 1	

06-0000000001-40

費目・工種・施工名称など	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
仮設工 レベル 1								Y1055			
交通誘導警備員B 配置人数:5人								S2580	0		
	4	4	日					施工内記	択0-0013号表		
直接工事費											
共通仮設費(率分)			式								
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費			式								
現場管理費計			7								
工事原価											
0.0000000001 40			7 -7 b Li								

06-00000000001-40

費目・工種・施工名称など	数量	量 単 位	単	価	金	額	備	考
一般管理費								
契約保証費		式						
关系扩大证值								
 一般管理費等計		式						
本本一版官 <u>理</u> 資金訂本本								
工事価格								
消費税相当額		式						
請負工事費								
工事価格計								
消費税相当額 計		式						
請負工事費計		八						
		77 b L						

06-00000000001-40

舗装打ち換え工

施工内訳表 施工内訳0-0001号表

SQ155

頁0-0007

表層工 密	ig 2.35 t/m3, タッ	クコート PK-4		オ 200 t 未満/工事(近	三されて 0001 9 32 三常時間帯) 1 m ² 当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルトフィニッシャ賃料			1 Ibert		T0477 1
ホイール型,舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			
ロードローラ賃料	0.001	П			T0415 1
マカダム, 10~12 t	0.001	日			
タイヤローラ賃料					T0422 1
8 ~ 2 0 t	0.001	日			
普通作業員					R0200 1
	0.003	人			
特殊作業員					R0100 1
	0.001	人			
運転手 (特殊)					R1400 1
	0.001	人			
土木一般世話役					R2500 1
	0.000	人			
再生アスファルト混合物					T9109 1
密粒度	0. 126	t			
アスファルト乳剤					T7022 1
PK3 · 4	0.000	t			
軽油					T0002 1
	0.064	L			
** 代表機労材規格 **					#01
	-100	%			この行までは参考表示であり積算には不使用
 ≪施工パッケージ積算単価≫					ニッ/ よ (は 多 句 双 か く の) り 慎 昇 に は 小 使 用
	1. 00	m²			

舗装打ち換え工

SQ155

施工内訳表 施工内訳0-0001号表

名称・規格など 数 章 単位 単 価 企 額 備 考 *** 単位当9計 *** A=1	表層工		密度 2.35	t/m3, タシ	クコート PK-4		As合材	· 200 t 未満/工事	(通常時間帯)	1	m² ≝	<u>当り</u>
A=1 車道・路肩部 B=3 表層 C=50 平均厚さ[単位:mm] D=4 W=3.0m超 E=3 密粒度As(再生) G=1 締固め後密度 2.35 t/m3(標準)		名称・規格など	数	量	単 位	単	価	金 額	備			
C=50 平均厚さ[単位:mm] D=4 W=3.0m超 E=3 密粒度As(再生) G=1 締固め後密度 2.35 t/m3(標準)	***	単位当り計 ***		1	m²							
E=3 密粒度As(再生)	C=50	平均厚さ[単位:mm]				D=4	W=3.Om走	77 12				
H=1		密粒度As(再生)					締固める	後密度 2.35 t/m3	3(標準)			
Tell 1V-1-②-2,8 1V-1-③-2,8 1V-1-3,8 1V							As合材	200 t 未満/工事				
	J=1	迪 名時間带				K=1	IV-1-(2))–2, 8				
												-

舗装打ち換え工

SQ155

施工内訳表 施工内訳0-0002号表

基層工	密度 2.35 t/m3, プ			As合材	200 t 未清		質時間帯)			m²	当り
名称・規格など	数量	単位	単	価	金	額		備		夸	
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型,舗装幅2.3~6.0 m	0. 001	目					T0477	1			
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12 t	0.001	目					T0415	1			
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	目					T0422	1			
普通作業員	0.003	人					R0200	1			
特殊作業員	0.001	人					R0100	1			
運転手 (特殊)	0. 001	人					R1400	1			
土木一般世話役	0.000	人					R2500	1			
再生アスファルト混合物 粗粒度	0. 126	t					Т9111	1			
アスファルト乳剤 PK3・4	0.001	t					T7022	1			
軽油	0.065	L					T0002	1			
** 代表機労材規格 **	-100	%					#01 この行ま ⁻	では参考表示	であり積算に	は不使	一—
≪施工パッケージ積算単価≫	1.00	m²					= 1,000				,

舗装打ち換え工

施工内訳表 施工内訳0-0002号表 Accht 200+未港/工事(通常時間帯)

基層工		密度 2.35 t/m3, ブ	。ライムコート PK-	PK-3 As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯) 1 m ²							
	名称・規格など	数量	単位	単	価	金額	備		考	当り	
									-		
* * *	単位当り計 ***	1	m²								
			111								
A=1	車道·路肩部			B=1	基層						
C=50											
	平均厚さ [単位:mm]			D=4	W=3.0m超	*# O OF / O/#	开 沙佐 \				
E=12	粗粒度As(再生)			G=1	一	密度 2.35 t/m3(t	<u> </u>				
H=2	プライムコート PK-3			I=2	As合材 20	00 t 未満/工事					
J=1	通常時間帯			K=1	IV-1-2-2	2, 8					

表層工

施工内訳表 施工内訳0-0003号表

頁0-0011

SQ155 As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯) 密度 2.35 t/m3, タックコート PK-4 オーバーレイ 名 称 ・ 規 格 な ど 単 位 数量 額 アスファルトフィニッシャ賃料 T0477 1 ホイール型、舗装幅2.3~6.0m 0.001 日 ロードローラ賃料 T0415 マカダム. $10 \sim 12 t$ 日 0.001 タイヤローラ賃料 T0422 $8 \sim 2.0 \text{ t}$ 日 0.001 普通作業員 R0200 0.003 人 特殊作業員 R0100 1 0.001人 運転手 (特殊) R1400 1 人 0.001 土木一般世話役 R2500 0.000 人 再生アスファルト混合物 T9109 密粒度 0.076t アスファルト乳剤 T7022 PK3 • 4 0.000 t 軽油 T0002 0.064 L ** 代表機労材規格 ** #01 % -100この行までは参考表示であり積算には不使用 ≪施工パッケージ積算単価≫ 1.00 m^2

06-0000000001-40

表層工

SQ155

施工内訳表 施工内訳0-0003号表

ス/ョユ オーバー]						As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯) 1 m ² 当り								
	名 称 ・	規格な	ど	数	量	単位	単	価	金	額	備		考	
* * *	単位当り計	***			_	m²								
A=1 C=30	平均月	路肩部 厚さ [単位:	mm]				B=3 D=4	表層 W=3.0m	超					
E=3 H=1 J=1	タックコー	<u>度As(再生)</u> -トPK−4 時間帯					G=1 I=2 K=1	締固め As合材 W-1-②	後密度 2.3 200 t 未満 2-2,8	<u>5 t /m3(標</u> /工事	[準]			
	2011	3 1/3 1/3												

表層工

施工内訳表 施工内訳0-0004号表

SQ155

頁0-0013

As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯) 密度 2.35 t/m3, タックコート PK-4 オーバーレイ 単 名称・規格など 考 単 位 数 量 額 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] M3505P 質量0.5~0.6 t 供用日 0.005振動コンパクタ「前進型] M3615P 質量40~60kg 0.011 供用日 特殊作業員 R0100 1 人 0.020 普通作業員 R0200 人 0.016 十木一般世話役 R2500 1 0.004人 再生アスファルト混合物 T9109 1 密粒度 0.076t アスファルト乳剤 T7022 PK3 · 4 0.000 t ガソリン T0001 0.032 L 軽油 T0002 0.006 L ** 代表機労材規格 ** #01 % -100この行までは参考表示であり積算には不使用 ≪施工パッケージ積算単価≫ 1.00 m^2 *** 単位当り計 *** m^2 1

06-0000000001-40

表層工

オーバーレイ		密度 2.35 t	/m3, タッ	クコート PK-4		As合材	200 t 未満/工事(通常時間帯)	1 m² 当り
名	称 ・ 規 格 な ど	密度 2.35 t , 数	量	単位	単	価	金 額	備	考
A=1	車道·路肩部				B=3	表層			
C=30	平均厚さ [単位:mm]				D=1	W=1.4m∋	未満(t≦50mm) 後密度 2.35 t/m3(z		
E=3	密粒度As(再生)				G=1	締固め征	後密度 2.35 t/m3(√	標準)	
H=1	タックコート PK-4				I=2	As合材	200 t 未満/工事		
J=1	通常時間帯				K=1	IV-1-2	-2, 8		
							1		

不陸整正

施工内訳表

施工内訳0-0005号表

頁0-0015

SQ149 補足材料平均厚さ 29mm以上34mm未満 粒調砕石 M-30 名称・規格など 考 金 備 数 量 単位 額 モータグレーダ「十工用」 MB031P 排ガス2次 ブレード幅3.1m 供用日 0.001 ロードローラ「マカダム〕 MB610P 排ガス2次 質量10t 締固め幅2.1m 供用日 0.001 タイヤローラ賃料 T0422 1 $8 \sim 20 \text{ t}$ 日 0.001 運転手(特殊) R1400 0.002 人 特殊作業員 R0100 1 0.001 人 普通作業員 R0200 1 人 0.001 土木一般世話役 R2500 0.000 人 粒調砕石 (M-30) T0511 0.040m 3 軽油 T0002 0.075L ** 代表機労材規格 ** #01 % -100この行までは参考表示であり積算には不使用 ≪施工パッケージ積算単価≫ 1.00 m^2 *** 単位当り計 *** m^2 1

06-0000000001-40

不陸整正

施工内訳表 施工内訳0-0005号表 SQ149

頁0-0016

へに登止 粒調砕石 M-30	50149 補足 <u>材料平均厚さ 2</u>			H	ルロユー	內訳0-0005亏衣	1 <u>m²</u> 当火
<u>松 胴 仲 石 M 50</u>	数 量	単位	単	価 全	貊	備	
名称・規格など A=2 補足材料有り	<u> </u>	+ 111	B=9 裤	記録料平均厚さ	29mm以上		
C=7 粒調砕石 M-30			E=1	価 <u>金</u> i足材料平均厚さ 7-1-①-2			
0.0000000001 10			t b 40 ±				

施工内訳表 施工内訳0-0006号表

区画線(溶融式)設置工(手動)

S7001

線色:白色 実線	<u>施工幅 15</u>	cm	- '	• 19	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1000 m 当月
名 称 ・ 規 格 な ど	数量	単位	単	価	金 額	備考
溶融式区画線(実線)[手間]		1 1	') jui		TB001
1 5 c m	1,000.00	m				12001
時間的制約の無し昼間単価	2,000.00					
路面標示用塗料						T7104 1
3種1号 JIS K 5665 溶融 白	570.00	kg				
- III V V		0				JIS K 5665 3種
ガラスビーズ						T7111 1
JIS R 3301 1号	25. 00	kg				
						JIS R 3301
接着用プライマー						T7110 1
区画線用	25.00	kg				
軽油						T0002 1
	40.00	L				
諸雑費						#01
	5. 0	%				
***	1,000	m				
*** 単位当り計 ***	1	m				
A=1 実線			B=1	白色		
C=1 施工幅 15cm			D=1	塗布厚	1.5 mm	
E=1 供用区間			F=1	排水性網	舗装でない場合	
G=1 昼間単価			H=1	無し		
I=1 VI-1-①-1						

施工内訳表 施工内訳0-0007号表

区画線(溶融式)設置工(手動)	S7001	旃	\vec{j}	内部	表	旃 -	工内訳0-0007号表		頁0-	-0018
泉色:白色 破	線 施工幅 15			, , ,		ДE -	工门(1000001万)(2	1000	m	当
名 称 ・ 規 格 な ど	数量	単位	単	価	金	額	備		考	
溶融式区画線(破線)[手間]							TB041			
15 c m	1, 000. 00	m								
時間的制約無し昼間単価							m=101			
路面標示用塗料	570.00	1					T7104 1			
3種1号 JIS K 5665 溶融 白	570.00	kg					TIC V ECCE 93			
ガラスビーズ							JIS K 5665 3種 T7111 1			
JIS R 3301 1号	25. 00	kg					17111 1			
J15 R 3501 17	25.00	ng					JIS R 3301			
接着用プライマー							T7110 1			
区画線用	25. 00	kg					1110			
		0								
軽油							T0002 1			
	44.00	L								
諸雑費							#01			
	5.0	%								
	1 000									
***	1,000	m								
*** 単位当り計 ***	1	***								
本本本 単位目り前 本本本	1	m								
			B=1	白色						
C=1 施工幅 1 5 cm			D=1		1. 5 mm					
E=1 供用区間			F=1		浦装でない場	 悬合				
G=1 昼間単価			H=1	無し	11122	<i>ж</i> ц				
I=1 $VI-1-1$, c						

区画線(溶融式)設置工(手動)

S7001

施工内訳表 施工内訳0-0008号表

線色:白色	矢印・記号・文字	施工幅 1		, ,	, , ,	1000	m 当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数量	単位	単	価	金額	備	考
溶融式区画線(矢印・記号・文字)[手間]						TB121	
1 5 c m換算	1,000.00	m					
時間的制約 無し 昼間単価							
路面標示用塗料						T7104 1	
3種1号 JIS K 5665 溶融 白	570.00	kg					
						JIS K 5665 3種	
ガラスビーズ						T7111 1	
JIS R 3301 1号	25. 00	kg					
						JIS R 3301	
接着用プライマー						T7110 1	
区画線用	25. 00	kg					
軽油						T0002 1	
	100.00	L					
諸雑費						#01	
	5. 0	%					
A =1							
*** A A A A A A A A A A A A A A A A A A	1,000	m					
24/4/4/6 = 1							
*** 単位当り計 ***	1	m					
			D 1	<u> </u>			
A=4 矢印・記号・文字			B=1	白色			
C=5 施工幅 1.5 cm換算			D=1		1. 5 mm		
E=1 供用区間			F=1		#装でない場合		
G=1 昼間単価			H=1	無し			
I=1 VI-1-①-1							

頁 0 - 0020

施工内訳表 施工内訳0-0009号表

アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下 SQZ185

当り 1

標準単価: 材料構成比: 市場単価構成比: 代表機労材規格 代表機労材規格(東京地区) 備考 構成比 単 単価(東京地区) コンクリートカッタ「バキューム式(超低騒音)・湿式] コンクリートカッター「バキューム式(超低騒音型)・湿式] M4737P 切削深20cm級 ブレーデ径56cm 切削深20cm級 ブレード φ 56 c m その他(機械) その他(機械) EK009 特殊作業員 特殊作業員 R0100 土木一般世話役 十木一般世話役 R2500 普通作業員 普通作業員 R0200

アスファルト舗装版切断

施工内訳表

施工内訳0-0009号表

頁 0 - 0021

当り

アスファルト舗装版厚15cm以下 機械構成比:

SQZ185

m 煙淮単価·

機械構成比:	材料構成比:	市場単価構成比:	標準単価:	m = 9
代 表 機 労 材 規 格	構成比 単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)		その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 45cm		コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		T0094
ガソリン		ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他(材料)		その他(材料)		EZ009
積算単価		積算単価		EP001

頁 0 - 0022

施工内訳表 施工内訳0-0009号表

SQZ185

当り 1

材料構成比: 標準単価: 市場単価構成比: 代表機労材規格 単 代表機労材規格(東京地区) 備考 構成比 単価(東京地区) *** 単位当り計 *** アスファルト舗装版 15cm以下 A=1B=1IV-3-(3)-1 E=1

06-0000000001-40

アスファルト舗装版切断

アスファルト舗装版厚15cm以下

アスファルト舗装版破砕

施工内訳表

施工内訳0-0010号表

頁 0 - 0023

舗装版厚15cm以下,障害等無し

SQZ184

振動騒音対策不要 積込作業有り 材料構成比:

当り 煙進単価・

- 機械構成比: 労務構成比: 労務構成比:	振動艇百刈泉小安 傾込作業有り 材料構成比:	市場単価構成比:	標準単価:	III	ヨり
代表機労材規格	構成比単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備	考
バックホウ賃料(後方超小旋回) 山積0.45m3		バックホウ クローラ型 後方超小旋回型 山積 0.45 m3		T0478	
土木一般世話役		土木一般世話役		R2500	
運転手(特殊)		運転手 (特殊)		R1400	
普通作業員				R0200	
軽油		軽油 パトロール給油		T0002	
		A STATE			

アスファルト舗装版破砕

施工内訳表 施工内訳0-0010号表

頁 0 - 0024

舗装版厚15cm以下,障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り

機械構成比:	权		市場単価構成比:	標準単価:
代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区) 備 考
積算単価			積算単価	EP001
*** 単位当り計 ***				
A=1 アスファルト舗装版 C=1 不要 F=1 有り			B=1 無し D=1 15cm以下 G=1 IV-3-②-2	

頁 0 - 0025

施工内訳表 施工内訳0-0011号表

殼運搬舗装版破砕

双 里	SQZ.		ー	11万衣	
運搬距離5.5km超7.0km以下,DID無し	機械積込(小規			1	m3 当り
機械構成比:	权	†料構成比:	市場単価構成比:	標準単価:	
代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック 2 t 積級		M1002P
2 t 積級			オンロード・ディーゼル		
タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む		
プイト領代員及び間形員(反対)で百七			アイト現代貝及り間形具(区別)で百七		
運転手(一般)			運転手 (一般)		R1500
±77 \-\-			#V \\		W0000
軽油			軽油		T0002
			パトロール給油		
積算単価			積算単価		EP001
					DI OOI
*** 単位当り計 ***					

施工内訳表 施工内訳0-0011号表

頁 0 - 0026

殼運搬舗装版破砕

SQZ101

運搬距離5.5km超7.0km以下, DID無し 機械積込(小規模土工) 当り 1 m3材料構成比: 標準単価: 市場単価構成比: 代表機労材規格 構成比 代表機労材規格(東京地区) 備考 単 単価(東京地区) 機械積込(小規模土工) 舗装版破砕 A=3B=4 D=31 C=1無し 5.5km超7.0km以下 II - 2 - 25 - 1E=1

産業廃棄物受入料

S9910

施工内訳表 施工内訳0-0012号表

生未光来が又八竹 アフファルト曲(堀削)	業廃棄物税上乗む	- 四半婚お会	-	1 4 17		ЛВ — Г	引於0-0012万衣	1 m3 当り
アスファルト塊 (掘削) 産 名称・規格など	数量	単位	単	価	金 1	額	備	
産業廃棄物受入料		中 世	 	1јш	並 1	6月	/V用	
生未廃来物文八科	1. 00	m3						
	1.00	1113						
*** 単位当り計 ***	1	0						
ネネネ 単位ヨり計 ネネネ	1	m3						
A=1 アスファルト塊 (掘削)			B=1	m3当り				
C= 受入料金 (円/単位)			D-1	mo= 9				
(ロ/単位)								
		+						
		+						
		+						

施工内訳表 施工内訳0-0013号表

S2580

配置人数:5人	52000	, · <u> </u>	_	, , , , ,	•	74	., 1th (0 0010 7 X	1	日	当り
┃ 名 称 ・ 規 格 な ど │	数量	単 位	単	価	金	額	備		考	
交通誘導警備員B	5. 00	人					R2580			
*** 単位当り計 ***	1	日								
A=2 交通誘導警備員 B C=1 交替要員[人/日]			B=4 D=1	配置人数 Ⅱ-5-21-1	(交替要員	除く)[人/日]			

交通誘導警備員B

入力データー覧表

		' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' 	<u> </u>	
コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数量/単位	単 金 額	条 件 值 条 件 名 称
X1000	**本工事費**	+ 112	亚. 48	水 II 4 W
Y1140	舗装工 レベル 1			
SQ155	舗装打ち換え工 表層工	228 m²		A=1, B=3, C=50, D=4, E=3, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位:mm], D=W=3.0m超, E= 密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t/m3(標準), H=タックコート PK-4
SQ155	舗装打ち換え工 基層工	228 m²		, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8 A=1, B=1, C=50, D=4, E=12, G=1, H=2, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=基層, C=平均厚さ[単位:mm], D=W=3. 0m超, E= 粗粒度As(再生), G=締固め後密度 2. 35 t /m3(標準), H=プライムコート PK
SQ155	表層工 オーバーレイ	81 m²		-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8 A=1, B=3, C=30, D=4, E=3, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位:mm], D=W=3. 0m超, E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2. 35 t/m3(標準), H=タックコート PK-4
SQ155	表層工 オーバーレイ	22 m²		、I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8 A=1, B=3, C=30, D=1, E=3, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位:mm], D=W=1. 4m未満(t≤50mm), E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t/m3(標準), H=
				タックコート PK-4, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=IV-1-②-2, 8
SQ149	不陸整正 粒調砕石 M-30	228 m²		A=2, B=9, C=7, E=1 A=補足材料有り, B=補足材料平均厚さ 29mm以上34mm未満, C=粒調砕 石 M-30, E=IV-1-①-2
Y1140	安全施設工 レベル 1			
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動) 線色:白色	68 m		A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=実線, B=白色, C=施工幅 1 5 cm, D=塗布厚 1.5 mm, E=供用区間 ,F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し, I=VI-1-①-1
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動) 線色:白色	20 m		A=2, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1 A=破線, B=白色, C=施工幅 15cm, D=塗布厚 1.5mm, E=供用区間 , F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し, I=VI-1-①-1

入力データー覧表

		/ •/ 5 /	, ´ 	<u> </u>	
コード	カ 4h - 4H +b - 1 と	数量/	単金	価 額	条 件 值 条 件 名 称
S7001	名 称 ・ 規 格 な ど 区画線(溶融式)設置工(手動)	<u>単位</u> 11	金		条 件 名 称 A=4, B=1, C=5, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1
57001					
	線色:白色	m			A=矢印·記号·文字, B=白色, C=施工幅 15 cm換算, D=塗布厚 1
					. 5 mm, E=供用区間, F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し,
07001	□三伯(凌弘子)□□□ / (不利)	10			I=VI-1-①-1
S7001	区画線(溶融式)設置工(手動)	13			A=4, B=1, C=5, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, I=1
	線色:白色	m			A=矢印・記号・文字, B=白色, C=施工幅 1 5 cm換算, D=塗布厚 1
					. 5 mm, E=供用区間, F=排水性舗装でない場合, G=昼間単価, H=無し,
771154	<i>ħ₩</i> 				I=VI-1-①-1
Y1154	雑工 レベル 1				
007105	• =	104			A 1 D 1 D 1
SQZ185	アスファルト舗装版切断	134			A=1, B=1, E=1
207104	アスファルト舗装版厚15cm以下	m			A=アスファルト舗装版, B=15cm以下, E=IV-3-③-1
SQZ184	アスファルト舗装版破砕	228			A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1
207101	舗装版厚15cm以下,障害等無し	m²			A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=IV-3-②-2
SQZ101	殼運搬舗装版破砕	23			A=3, B=4, C=1, D=31, E=1
	- 運搬距離5.5km超7.0km以下, DID無し	m3			A=舗装版破砕, B=機械積込(小規模土工), C=無し, D=5.5km超7.0km以
					下, E= II -2-25-1
#0042	*処分費(直工内)*				
S9910	産業廃棄物受入料	23			A=1, B=1, C=
	アスファルト塊 (掘削)	m3			A=アスファルト塊 (掘削), B=m3当り, C=受入料金 (円/単位)
Y1055	仮設工				
	レベル1				
S2580	交通誘導警備員B	4			A=2, B=4, C=1
	配置人数:5人	日			A=交通誘導警備員B,B=配置人数(交替要員除く)[人/日],C=交替
					要員[人/日]
G0000	**直接工事費**				
	T T 巴 以 上 于 貝 T T				
Z0050	共通仮設費 (率分)				
		式			
G1000	**共通仮設費計**				
G2000	**純工事費**				

入力データー覧表

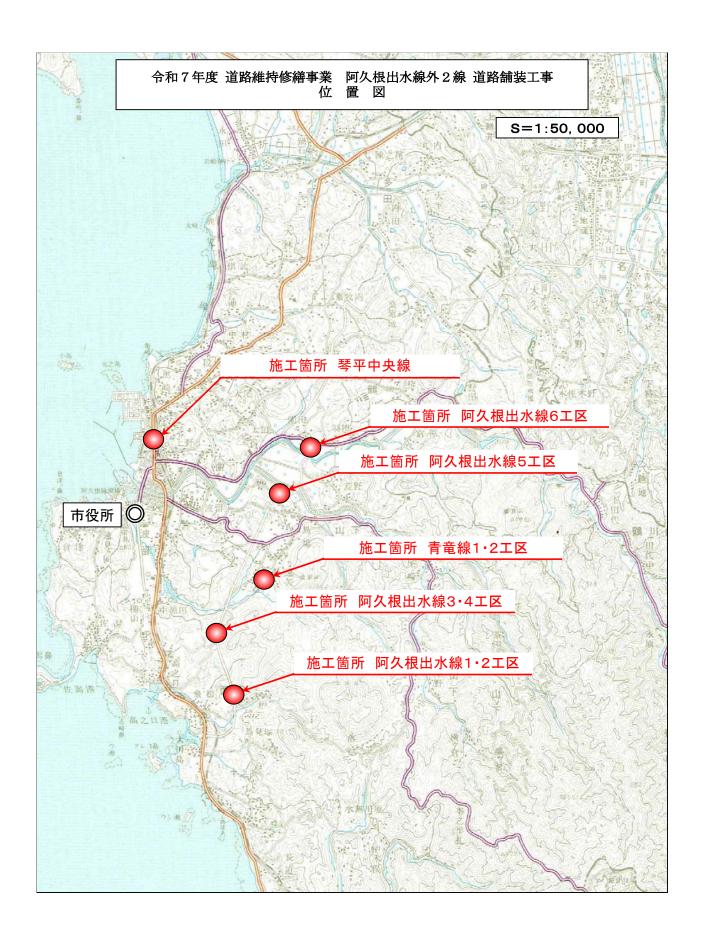
		<u>/ \/ J / </u>			
コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量/ 単 位	単 金 額	条 件 条 件 名	
Z0020	名 称 ・ 規 格 な ど 現場管理費	式			
G2900	**現場管理費計**				
G4000	**工事原価**				
Z0030	一般管理費	式			
Z0031	契約保証費	式			
G4100	**一般管理費等計**				
G4800	**工事価格**				
Z0038	消費税相当額	式			
G5000	**請負工事費**	77			
G6000	工事価格計				
Z0039	消費税相当額計	式			
G4900	請負工事費計	17			
0.0.0000000					

機労材集計表

	****	146				<u> 1//</u>				<u>Г</u>	1		1					
項番	単価	集計	単位	田 値	数量累計	単	位	単	価	名	称		集	計	区	分	名	称
	コード	区分																
1	M1002P	191			4. 6000			ダンプトラック	_				運搬・荷					
2	M3505P	193			0.1100			振動ローラ(舗			ドガイ	ド式]	路盤用•					
3	M3615P	193			0. 2420			振動コンパクタ					路盤用•					
4	M4737P	193			1. 3400			コンクリートカッタ [バキ			経音)・	湿式]	路盤用•					
5	MB031P	193			0. 2280			モータグレーダ					路盤用•					
6	MB610P	193			0. 2280			ロードローラ [マカダ	`ム]			路盤用•	舗装用	機械等			
7	R0100	202			1. 2050	人		特殊作業員					労務単個	Ħ				
8	R0200	202			2. 1910			普通作業員					労務単位					
9	R1400	202			0. 9930	人		運転手(特殊)					労務単位					
10	R1500	202			3. 9100	人		運転手(一般)					労務単位					
11	R2500	202			0.0880	人		土木一般世話役					労務単位					
12	R2580	202			20.0000	人		交通誘導警備員	В				労務単位					
13	T0001	221			18. 1240	L		ガソリン					3-1 燃料					
14	T0002	221			159. 9980	L		軽油					3-1 燃料					
15	T0094	262			0.0000	枚		コンクリートカ	ッター	・ブレー	- F		9-4 ビッ	ノト・ロ	ッド			
16	T0415	382			0. 5370	日		ロードローラ賃					建設機械					
17	T0422	382			0.7650	日		タイヤローラ賃	料				建設機械	成賃料				
18	T0477	382			0. 5370	日		アスファルトフ	イニッ	シャ賃	賃料		建設機械	域賃料				
19	T0478	382			0.0000	日		バックホウ賃料		超小旋	回)		建設機械	域賃料				
20	T0511	227			9. 1200	m 3		粒調砕石(M-	30)				5-1 地域	划石材	類			
21	T7022	218			0. 2280	t		アスファルト乳					2-2 アン			等		
22	T7104	060			63. 8400	kg		路面標示用塗料					塗料・道					
23	T7110	060			2.8000	kg		接着用プライマ	_				塗料・道	直路区画:	線等			
24	T7111	060			2.8000	kg		ガラスビーズ					塗料・道	直路区画	線等			
25	T9109	217			36. 5560	t		再生アスファル					2-1 アフ					
26	T9111	217			28. 7280	t		再生アスファル	卜混合	物			2-1 アフ	スコン合	材			
27	TB001	400			68.0000	m		溶融式区画線(実線)	[手間]]		土木工事	事標準単	価 (1)	区画線 二	Ľ	
28	TB041	400			20.0000	m		溶融式区画線(破線)	[手間]]		土木工事	事標準単	価 (1)	区画線 二	Ľ	
29	TB121	400			24. 0000	m		溶融式区画線(矢印・詞	記号・文	(字) [手間]	土木工事	事標準単	価 (1)	区画線 二	Ľ	

工事数量総括表

		工				令和7年度	道路維持修料	事業 阿久根	出水線外	2線 道路舗装工事
工 種	細目	規格・計算式	阿久模出水線	青竜線	琴平中央線	合計	l	管理数量		
舗装工							1		式	
		表層工(再生密粒AS)								
	舗装打ち換え工	W=3.0m以上 t=50mm	228.4			228. 4	228	228. 4	m2	図面より
		基曆工(再生粗粒AS)								
	舗装打ち換え工	W=3.0m以上 t=50mm	228.4			228. 4	228	228. 4	m2	"
		オーバーレイ 再生密粒AS								
	表層工	W=3.0m以上 t=30mm		80.5		80. 5	81	80. 5	m2	"
		オーバーレイ 再生密粒AS								
	表層工	W=1.4m以下 t=30mm			21.9	21.9	22	21. 9	m2	"
	不陸整正	補足材 平均3cm	228.4			228. 4	228	228. 4	m2	"
安全施設工							1		式	
							68	68. 0	m	
	区画線設置	外側線 (実線 W=15cm)	68.0			68. 0	00	00.0		図面より
	区画線設置	中央線 (破線 W=15cm)	20.0			20. 0	20	20. 0	m	"
	区画線設置	中央線 (滅速マーク W=15cm機算)	11.2			11. 2	11	11. 2	m	11
	区画線設置	中央線 (文字 W=15cm換算)	13.2			13. 2	13	13. 2	m	u.
雑工							1		式	
	AS舗装版切断	AS植築 (100mm)	133.5			133. 5	134	133. 5	m	図面より
	AS舗装版破砕	AS舗装版	228.4			228. 4	228	228. 4	m2	II.
	殼運搬	AS® L=7.0 km	22.7			22.7	23	22. 7	m3	"
	産廃処理	AS股	22.7			22. 7	23	22. 7	m3	"
仮設工							1		式	
	大塚経済 見		4.0			4. 0	4	4. 0	В	
	交通誘導員	配置人数5人(交代更具含む)	4.0			4. U				<u>交通誘導員算定表より</u>



特 記 仕 様 書

(総則)

- 第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。
 - (1) 工 事 名:令和7年度道路維持修繕事業 阿久根出水線外2線 道路舗装工事
 - (2) 工事場所:阿久根市 西目・山下・琴平町 地内
 - (3) 工 期:135日間
- 第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書並びに下記仕 様書等その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要項、指針、示方書(最新版)に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員(以下「甲」とする。)と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書
- (2) 十木工事施工管理基準
- (3) 土木請負工事必携
- (4) 道路事業の手引き (鹿児島県土木部制定)
- (5) 建設副產物摘要処理推進要綱
- (6) 土木工事安全施工技術指針
- (7) その他関係要項、指針及び示方書等
- 第3条 この工事の契約数量は、設計図書のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議の上、契約変更の対象とする。ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初設計金額が500万円を超える場合、金銭的補償を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額500万円以上のものについて は、請負金額の10分の4以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計において前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。また、本工事は債務負担のため3月中の前払いはできないが、新年度(4月以降)であれば可能である。

(工事カルテ作成・登録)

第6条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更及び完成時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内(土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで)に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内(土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで)に、完成時は工事完成後10日以内(土、日、祝日等が重なる場合はその前日まで)に(財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

登録完了後は、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、 直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間 に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(技術者)

第7条 請負者は、測量・調査・施工管理及び検査のために専属して経験のある技 術者を常に配置し、監督職員の指示に応じなければならない。

(監理技術者)

第8条 本工事で監理技術者を通知する場合は「監理技術者講習修了証」の写しを 提出するものとする。対象者は平成16年3月1日以降に監理技術者資格者証を新 規交付された者又は更新交付された者とする。なお、平成16年2月29日以前に 監理技術者証を交付された者は対象外とする。

(監理技術者等の選任を要しない期間)

- 第9条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、 資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、打合せ記録 簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場 への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結 後、監督職員との打合せにおいて定めること。
- 2 工事完成後、検査が終了し、事務手続及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日(「工事目的物引受書」等における日付)とする。

(配置技術者等の途中交代)

- 第10条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技 術者の死亡、傷病又は退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場 合である。
 - ・ 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生 し、工期が延長された場合。
- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保 等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

(現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合)

- 第11条 現場代理人は現場に常駐し、その運営及び取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。
 - (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。
 - (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。
 - (3) 橋梁、ポンプ、ゲート又はエレベーター等の工場製作を含む工事であって、 工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内でほかの同種工事に係る 製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の 現場代理人が、これらの製作を一括して運営及び取締りを行うことができるも のとする。
 - (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、 事務手続及び後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行 われていない期間。
- 2 発注者への報告

前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐を不要と し、外の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合せ簿」等により、工事現 場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

(現場代理人の兼任)

第12条 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、 工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場 合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、

- (4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。
- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円 未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円 以上となり、各々の工事における主任(監理)技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2)発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3)兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5)兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1 日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6)兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。
- 2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任(変更)申請書」(別紙1)を提出 し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任(変更)通知書」 により、発注者に通知すること。

なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第 12 条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

(施工体制台帳の作成等について)

第13条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく(遅くとも下請け工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について作成し提出すること。

(施工体系図の作成等について)

第14条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の(1) から(4)の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事 現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、 その写しを監督職員に遅滞なく(遅くとも下請工事または業務の着手前までに) 提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度変 更に関する事項について作成し提出すること。

- (1) 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
- (2) 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- (3) 工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務
- (4) その他監督職員が記載を指示した業務等

(工事の施工)

- 第15条 工事着手にあたっては、地元区長及び近隣住民への周知を徹底すること。
- 2 着工前測量を実施し、その結果を報告するとともに設計図書と相違があった場合は監督員と協議すること。

(国土調査の基準点等測量標識等の保全)

第16条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取扱いについて監督員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

(管内(県内)建設業者の優先使用)

- 第17条 請負業者は、工事の一部を下請に付する場合は、北薩地域振興局管内に主 たる営業所を有するものを使用するよう努めることとする。
- 2 請負業者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書等の提出 と併せて「下請工事における管内建設業者等付活用状況報告書」を監督職員に提 出すること。
- 3 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(県産資材の優先使用について)

- 第18条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの (以下「県産資材」という。)の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以 外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めるこ ととする。
- 2 請負業者「材料使用承認願」において、全ての資材について県産資材使用の湯 無を記載するとともに、以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用 しない場合は、「県産資材等不使用状況報告書」を監督員に提出し、承諾を得なけ ればならない。

指定主要資材 生コン (レディミクストコンクリート) コンクリート二次製品 石材類 (7品目) アスファルト合材 木材 樹木 野芝

- 3 前項で定めた不使用状況報告書において、第1項で定めた資材業者から調達しない場合は、その理由を記載すること。
- 4 請負業者は、工事完成時及び監督員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出すること。

(支給品)

第19条 下記支給品については、監督職員に確認の上、現場へ搬入又はスクラップ を行うものとする。

資材名	規格	数量	搬出場所

(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)

- 第20条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
 - (1) 分別解体等の方法(参考)

工	工程	作業内容	分別解体等の方法(※)
程	仮設	仮設工事	□手作業
کے		□有 □無	□手作業・機械作業の併用
の作	土工	土工事	□手作業
業		□有 □無	□手作業・機械作業の併用
作業内容	基礎	基礎工事	□手作業
•		□有 □無	□手作業・機械作業の併用
解体方法	本体構造	本体構造の工事	□手作業
方		■有 □無	■手作業・機械作業の併用
法	本体付属品	本体付属品の工事	□手作業
		□有 □無	□手作業・機械作業の併用
	その他	その他の工事	□手作業
		□有 □無	□手作業・機械作業の併用

- ※ 「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。
- (2) 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
アスファルト	ツカサ	阿久根市鶴川内	7.0 km

※ 上記(2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

(建設副産物の処理)

- 第21条 建設工事の施工により発生する指定副産物(コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥(建設発生土は除く。)等)のうち、処分の指定のない無筋コンクリート殻については、30 cm以下に小割し、盛土区間等で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受入条件等を確認し、発注者に報告するものとする。なお、積算に際しては、前条第1項第2号に示す条件により積算している。
- 2 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 3 処分状況等の記録(再生資源利用促進実施書及びマニフェスト(E票)の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を完成書類に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者から返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者から返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。
- 4 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。
- 5 再生資材の利用

受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資材名	規格	備考
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒・再生粗粒	舗装打ち換え工・表層工

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

6 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やす い場所に掲げなければならない。さらに、利用状況等の記録を完成書類に含めて提出すること。

7 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、監督職員 と協議の上、その指示によること。

(産業廃棄物税)

第22条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

- (建設発生土の処理)

- 第23条 建設発生土の処理(指定処分)

運搬先: () _____

- 2) 再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。
 - 3) 処分状況の記録を完成書類に含めて提出すること。
- 4) 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、監督 職員と協議の上、その指示によること。

(過積載等の防止)

- 第24条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。
 - (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
 - (2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
 - (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
 - (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。
 - (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置 法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立 状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
 - (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
 - (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

(交通誘導員)

第25条 本工事で配置する交通誘導員は、交通誘導警備業務に係る1、2級検定合格警備員、又は交通誘導に関して専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置すること。ただし、鹿児島県公安委員会が道路における危険を防止するため、交通誘導警備業務検定合格警備員の配置が必要と定めた路線において、交通誘導警備業務に従事する場合の交通誘導員は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに1名以上は1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を配置すること。なお、同一規制箇所では、交通誘導警備業務に従事する者全員を同一警備会社の警備員とすること。また、請負者は上記のことを示す資料を監督職員に現地着手前に提出すること。

資格	資格条件
交通誘導警備業務に係る	改正警備業法(H17.11.21 施工)における検定合格
1級検定合格警備員	者
2級検定合格警備員	
交通誘導に関し専門的な	警備業法における基本教育及び業務別教育(警備法
知識及び技術を有する警	第二条第一項第二号の警備業務)を現に受けている
備員等	者

(工事の施工)

- 第26条 本工事の施工にあたっての施工条件は図面や数量表を基にし、施工計画書の作成及び工事施工時において十分留意するものとする。なお、明示されている施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に派生した施工条件についても、甲乙協議の上契約変更の対象とする。
- 一(標準の機械経費(損料)が排出ガス対策型第3次基準値の建設機械の工種) 第27条 機械掘削におけるバックホウの機械経費(損料)の積算に関しては、第3 次基準値により算出している。なお、受注者が第2次基準値以下の建設機械を使 用し施工する場合は、使用する建設機械の機械経費(損料)に設計変更する。

(床掘及び切土)

- 第28条 切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。
- 2 監督職員の承認を受けず切りすぎた土量の増については変更契約の対象としない。

(盛十及び埋戻)

- 第29条 盛土は常に型下がりの横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。
- 2 盛土施工中は常に雨水等による土砂流出を起こさないよう排水処理を考慮し施工すること。
- 3 埋戻前に漏水等ある場合は、必ず排水した後に埋戻をしなければならない。

(コンクリート工)

第30条 コンクリートの品質は下記のとおりとする。

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメントB種	18N/mm2	$8 \pm 2.5 \text{ cm}$	4 0 mm	1・2 号取付舗装工
高炉セメントB種	18N/mm 2	8±2.5 cm	20 mm	張コンクリート

- 第31条 レディミクストコンクリートの工場は原則としてJISマーク表示許可工 場を選定する。
- 第32条 現場までの運搬時間、コンクリートの製造能力、運搬車数、工場の製造設備及び品質管理状態を考慮して選定し監督職員に報告すること。
- 第33条 レディミクストコンクリートを使用するときは使用に先立ち試験練りを行いその結果を報告しなければならない。なお第31条に示すもの以外のものを使用する場合は監督職員の承諾を得ること。
- 第34条 コンクリート構造物については打設計画を作成し1日毎の打設計画管理を行うこと。

(セメントモルタル、コンクリート吹付工)

- 第35条 請負者は、セメントモルタル等の吹付けにあたっては、吹付け厚さが均等になるよう施工しなければならない。
- 2 請負者は、吹付面が岩盤の場合には、ごみ、泥土及び浮石等の吹付材の付着に 害となるものは除去しなければならない。吹付面が給水性の場合は、事前に給水 させなければならない。また、吹付面が土砂の場合は、吹付厚により土砂が散乱 しないように打ち固めなければならない。
- 3 請負者は、吹付の施工に影響を及ぼす湧水が発生した場合、又はその恐れのある場合には施工方法について事前に監督職員と協議しなければならない。
- 4 請負者は、補強用金網の設置にあたっては、設計図書に示す仕上がり面からの 間隔を確保し、かつ吹付等により移動しないように法面に固定しなければならな い。また、金網の継手の重ね申は 10 cm以上重ねなければならない。
- 5 請負者は、吹付けにあたっては法面に直角に吹付けるものとし、法面の上部から順次下部へ吹付け、はね返り材料の上に吹付けてはならない。
- 6 請負者は、1日の作業の終了時及び体憩時には、吹付けの端部が次第に薄くなるように施工し、これに打継ぐ場合は、この部分のごみ、泥土等吹付材の付着に害となるものを除去し、清掃し、かつ湿らせてから吹付けなければならない。
- 7 請負者は、吹付仕上げ面及び吹付端部の施工に際しては、速度を遅くして仕上 げなければならない。表面仕上げを行う場合には、吹付けた面とコンクリート又 はセメントモルタル等が付着するように仕上げなければならない。

- 8 請負者は、吹付けに際しては、外の構造物を汚さないように、また、はね返り 材料は速やかに取除いて不良箇所が生じないように施工しなければならない。
- 9 請負者は、吹付けを2層以上に分けて行う場合には、層間にはく離が生じないように施工しなければならない。
- 10 請負者は、吹付工の伸縮目地、水抜き孔を設計図書によるほか監督職員の指示により施工しなければならない。
- 11 請負者は、法肩の吹付けにあたっては、地山に巻き込んで施工しなければならない。
- 12 請負者は、2 m²に1 か所程度の割合で水抜きパイプ (V P 50) を取付けなければならない。
- 13 コンクリート吹付工の吹付モルタルの配合、モルタル吹付工等の吹付モルタルの配合は以下のとおりとする。

W/C	C : S : G	<u>C : S</u>

(舗装工)

第36条 表層工

混合物敷均し後の締固めは振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。

第37条 路盤工

材料まき出し後の締固めは車道部を振動ローラ又はタンパーで転圧しなければならない。

第38条 その他

舗装工は「アスファルト舗装工事共通仕様書」によるものとする。管理基準は「土木工事施工管理基準のアスファルト舗装(簡易舗装)」による。

(排水工)

第39条 排水工の基礎工は切込砕石 (再生材 40 mm以下) の再生材を使用してタン パーにて十分転圧すること。

(環境保全型ブロック積)

- 第40条 環境保全型ブロック積の施工にあたっては、多自然型川づくりを念頭に現 況を改変することなく良好な瀬淵環境を保全し、又は創出すること。
- 2 <u>土工により河床を真っ平らに仕上げない。また、埋戻等により水際部を固めない。</u>

- 3 水際には発生材により寄せ石及び寄せ土を行い、水生生物の住処づくりと植生 回復を図ること。
- 4 周辺環境と調和したブロックを選定し、明度、彩度を抑えテクスチャーを持たせること。

(支障物件)

第41条 着工前測量により嵩上げ切下げ等が必要なマンホール等については、調査 を行い速やかに監督職員へ報告すること。

(工事縮減期間)

第42条 下記の期間(予定)は、「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」により、緊急対応等やむを得ない工事及び一時的な通行規制解除が困難な工事を除き、原則として路上工事(既に供用中の道路上で行われる、道路管理者及び占用企業者が行う通行規制を伴う工事)を中止することとする。工事中止期間については、予定であるため、詳細な日程が決まり次第請負者に通知するものとする。

中止する行事等	中止開始 (予定)	中止終了 (予定)
お盆	令和7年8月8日(金)	令和7年8月17日(日)
年末年始	令和7年12月26日(金)	令和8年1月4日(日)

(安全管理)

- 第43条 工事施設の安全を確保するため「土木工事安全施工技術指針」(全日本建設技術協会発行)によること。
- 第44条 労働安全衛生法、同法施行令及び同法施行規則を遵守すること。また、労働安全衛生規則「第二編第一二章土石流による危険の防止」の規定を遵守し施工計画書に明記すること。
- 第45条 道路法、道路交通法及び同法施工規則等を遵守し安全対策に努めること。
- 第46条 交通管理については道路標識板、バリケード、工事灯及び交通整理人の設置によって交通に与える影響を最小限にするよう作業計画、交通事故の絶無を期さなければならない。
- 2 看板は原則として、信号機の下に1か所、信号機より30m程度手前に1か所設置することとし、現場の状況等十分留意のうえ交通安全上必要な措置は講じること。

(書類提出)

第47条 下記に示すものは必ず現場代理人か現場監督員が持参のうえ提出するもの とし、監督職員の承認を得ること。

- (1) 工事契約30日以内
 - ア 請負工事契約約款第4条による横線式の工程表
 - イ 工事施工計画書

工事施工計画書については鹿児島県土木部制定「土木工事共通仕様書」「土木工事施工管理基準」に準じて作成し、必ず工事概要、工事内容、工事工程、現場組織、主要機械計画、主要材料、施工方法、測量計画管理、品質管理、出来高管理、写真管理、安全管理、仮設計画及び実施工程表を分かりやすく書きまとめるものとする。

- (2) 生コンクリート打設前 生コンクリート使用承認及び配合報告書を提出する。
- (3) アスファルト舗設

アスファルト舗設においては「基準密度承認願」にて承認を得ること。ただし、同時にマーシャル試験における「配合の承認」「使用骨材の承認」「瀝青材等の品質証明書」等を提出すること。

- (4) 特記仕様書に指定していない二次製品の使用前 積ブロック、トラフ等特記仕様書に指定のない場合は必ず使用前に「材料使 用の承認」と併せて「配合報告書」「品質証明書」を提出して承認を得ること。
- (5) 工事の出来高報告書(工事月報) 毎月末日現在の出来高を作成して毎月5日までに提出すること。
- (6) 完成検査前
 - ア 完成届
 - イ 提出書類

提出書類については写真整理、出来高管理及び品質管理を「土木工事施工管理基準」に従って順序良く製本しインデックス等を取付けること。特に写真整理については「土木工事施工管理基準」の写真管理基準によって撮影製本するものとする。

ウ 電子納品

本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。 ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン(令和4年1月)」(以下「ガイドライン」という。)に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各 1部の計2部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲につい ては、事前協議を行い決定する。

(7) 検査後

検査写真には検査時における写真の代表的なものを添付する。また、併せて 検査における破壊確認の写真、補修完了の写真を対比して添付すること。

(安全管理活動の実施状況報告)

- 第48条 安全管理活動については、実施状況等を毎月工事月報と併せて2日までに報告すること。
 - (1) 現場に則した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て実施。
 - (2) 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、月当たり1回以上活動。
 - (3) 店社パトロールを月当たり1回以上実施。
 - (4) 安全巡視、TBM、KY等の実施。
 - (5) 各種安全パトロールで指摘を受けた事項についての改善措置。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正について)

- 第49条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
- 2 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について(令和2年10月13日付け技術管理室長通知)」に基づき行うものとする。
- 3 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について(令和2年10月13日 付け技術管理室長通知)」は鹿児島県ホームページから取得できる。

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第50条 鹿児島県が発注する建設工事等(以下「県工事等」という。)において、 暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた 場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察 に通報すること。県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたこと により工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(工事等の施工にあたって要する物品等の調達について)

- 第51条 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を 優先して活用すること。
- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り市内業者から購入すること。

(工事等における遠隔臨場試行の推進にかかる運用について)

第52条 本工事は、遠隔臨場の試行対象とする。

遠隔臨場の試行は、「鹿児島県の公共工事等における遠隔臨場試行要領」により、受発注者いずれの発議でも打合せ簿による協議のうえ適用できる。

- 遠隔臨場は、受発注者の働き方改革に寄与するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にもつながることから試行を推進しており、現場立会のほか、 日頃の工事打合せについても、積極的な遠隔臨場の取り組みに努めること。
- (1) 遠隔臨場に必要な費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上すること し、全ての諸経費の対象としない。
- (2) 遠隔臨場に要する機器等はリースを基本とし、遠隔臨場を行う工事で機器を 利用した期間の賃料を計上できる。
- (3) 遠隔臨場に要する機器を購入した場合や手持ちの機器とした場合は、国税庁 ホームページの耐用年数表に基づき損料を計上する。
- ※ 耐用年数例
- -----タブレット、カメラ、アプリケーションソフト等:5年
- <u> Wi-Fi ルータ等通信機類:10年</u>
- (4) 情報共有システム (ASP方式) のオプションとしてプロバイダが提供している遠隔臨場機能を利用する場合は、遠隔臨場機能(オプション契約分)を利用した期間の遠隔臨場機能利用料金を計上する。

(「週休2日」施行工事について)

- 第53条 本工事は「週休2日」施行工事の対象である。
- 2 施行に当たっては『「週休2日」施行工事実施要項』に基づき行うものとする。
- 3 実施要項は鹿児島県ホームページから取得し、これを準用する。

(ヤンバルトサカヤスデのまん延防止)

第54条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入にあたっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの生息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、生息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

- 1 土・樹木等の措置
 - (1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。
 - (2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物及び産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物:市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却

施設

産業廃棄物:業の許可を有している民間の焼却施設(産業廃棄物税が発生し

ます。)

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

- 3 やむを得ず、土及び樹木等を発生地区から搬出する場合の措置
 - (1) 薬剤処理・燻蒸処理後に搬出する。
 - (2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去及び目視除去後搬出する。
- 4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業耕作機械の措置 付着土壌の除去及び薬剤処理後搬出する。
- 5 未発生地区での措置

発生地区からの土及び樹木等の搬入や農・林業耕作機械の移動等があった場合は、上記1~3の措置が講じられているかを確認する。

※ 奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H11:南九州市(旧頴娃町、旧知覧町)

H14:指宿市(旧山川町)、屋久島町(旧屋久町)

H15: 鹿児島市(旧吉田町)、日置市(旧吹上町)、枕崎市

H16: 鹿児島市

H17:指宿市

H22:出水市、南さつま市

H25:霧島市、阿久根市

H26: 鹿屋市、姶良市

H29:長島町

R 3: 西之表市、中種子町、錦江町

R4:肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

└ R 6 : 大崎町

		材料包	吏用承認願		
エ	事 名		請負業者名		
エ	期	<u> </u>	現 場 代 理 人		
路線	(河川		総括監督員		
工 事	事箇 所 名		監督員		
No.	材料名	規格	製造工場名 所 在 地	県産 資材	備考
	指定主要資材				
	その他資材				

安全・訓練等の実施状況報告書

I.	事	名								請	負者	4名			
契	約工	期			令	和	年	月	日~令和		年	月	日(日間)	
実	施	日	所	要	時	間	参加	人数		起	施	内	容	等	

(注)実施状況写真は別添のとおり。

工 事 打 合 簿

発	議		者	発注	者	請負者	発	議	年 月	日			令和		年	月	日
発	議	事	項	指示	協議	通知	承諾		提出	幹	g告		届出		その)他 ()
I.	事		名					請	負	者	名						
(þ	9 容)		ř-								_					
初	6付図		葉,	その他添付上記につ		指示	承諾		協議	iji	鱼知		受理	l	ます		
							りの対象と	なる									
							更するもの										
						併せて、その他	変更契約	可の文	「 象とな)	るので	で、別	送多	と更指	示 書	にて	通知し	ます。
		発注	81 15			CVIE	`		,								ř
5	几	老	i														
3	理																
																	St.
				監督耶									令和		年	月	日
(4)	□ -			上記につ	いて	了解	協議		提出	幹	设 告		届出	l	ます	0	
3	答			_		その他	()								
		11	ti.	f													-
		負者															
		-	·														
				現場代	- IIII 1								令和		年	ノ 月	日
			- /-	光物1	进八								13 VH	8	+	А	н
								茶	活 指 性 督員	P5/: #	至 員			現	6	場 大 技	街 者
								210	L. By El	IIII.	3 501	1		110	TITE	1 44-	64: -te

契約担当者

殿

請負者 商号又は名称 代表者の氏名

現場代理人の兼任(変更)申請書

下記工事について,現場代理人を兼任したいので(変更)申請します。 なお,両工事の施工に当たっては,関係法令等を遵守し,安全管理及び工程管理に 留意します。

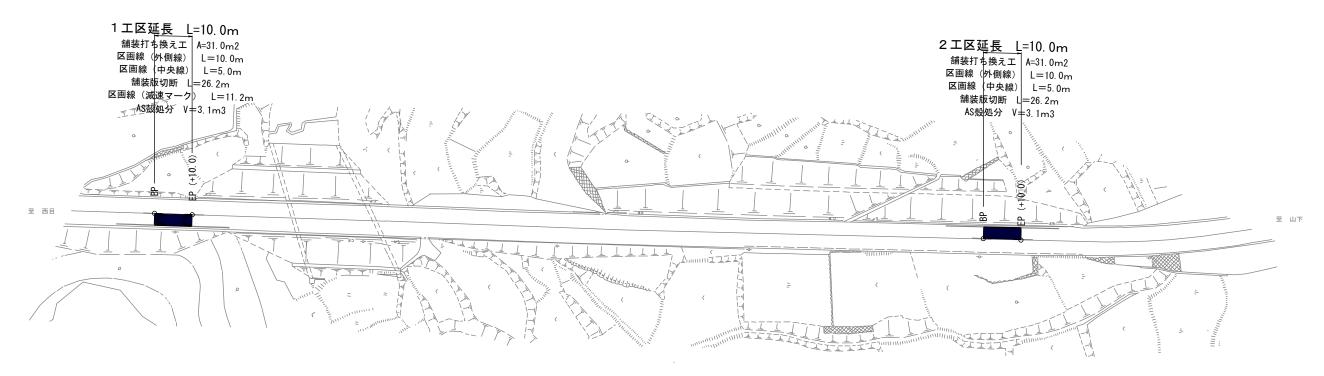
記

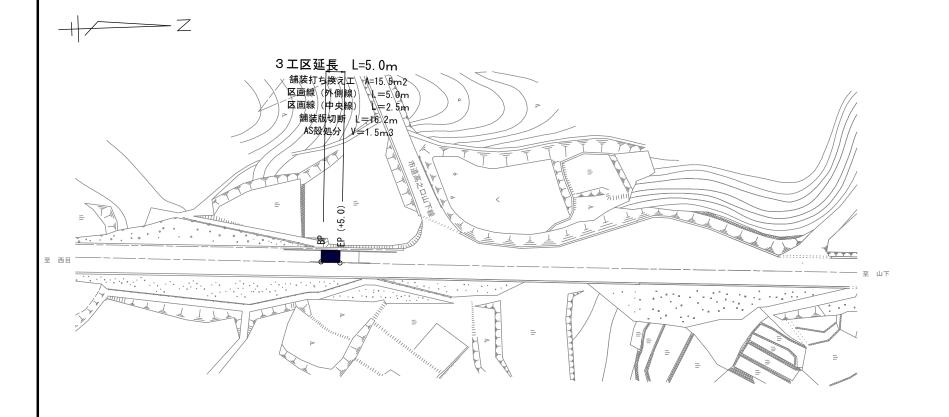
	主任技術者		
-	現 場 代 理 人		
	工 事 名		
①兼任する工事	工事場所		
(県土木部工事)	工期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間	氏 名	
	の緊急連絡先	連 絡 先	
	主 任 技 術 者		
	現場代理人		
	工 事 名		
[工事場所		
②兼任する他の工事	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
	主 任 技 術 者		
	現場代理人		
	工 事 名		
	工事場所		
③兼任する他の工事	工期		
	請負金額(税込み)		
[発注機関名		
[監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
丁 東田相の地下の	1-2	km	先
工事現場の相互の 距離・移動時間	1-3	km	ታ
M-UIT 12 297 U.7 [H]	2-3	km	5.

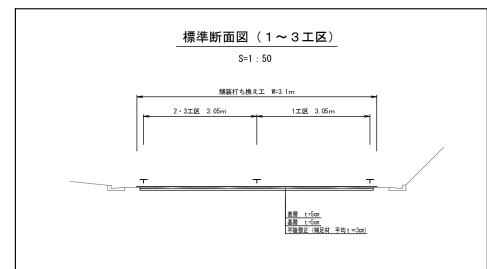
○添付書類:兼任する他の工事の当初契約書(写し)(※契約前の工事については後日提出)

[○]兼任する他の工事について、兼任の承認をうけていることがわかる書類の写しを後日提出すること

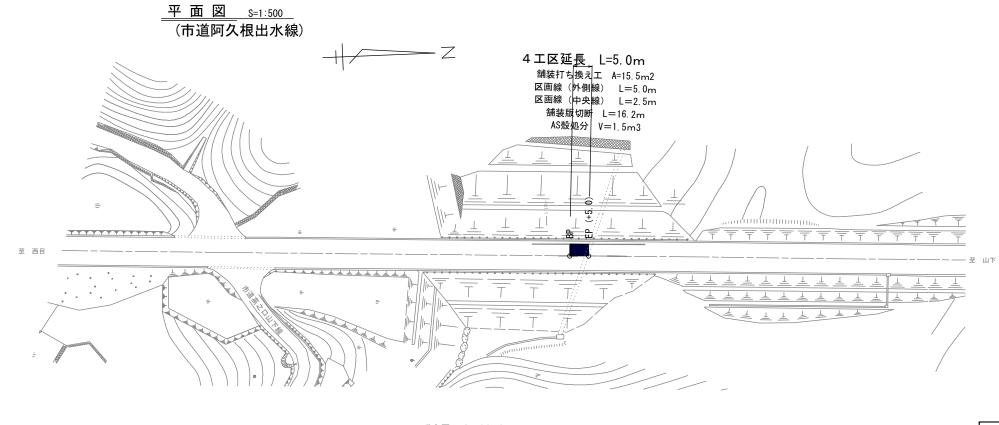


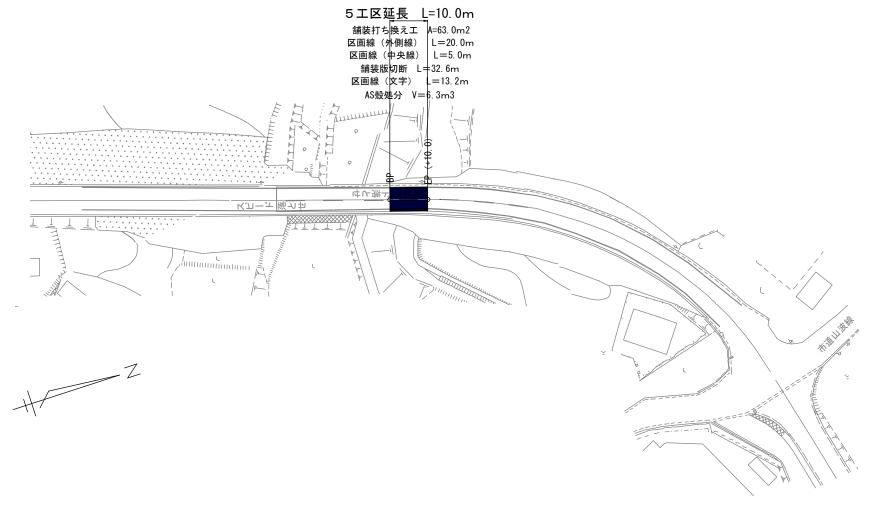


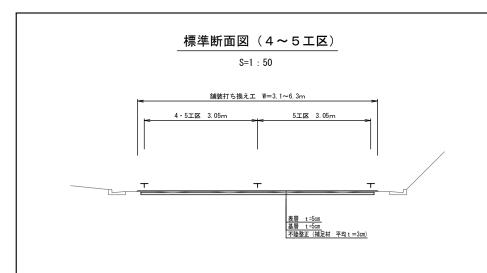




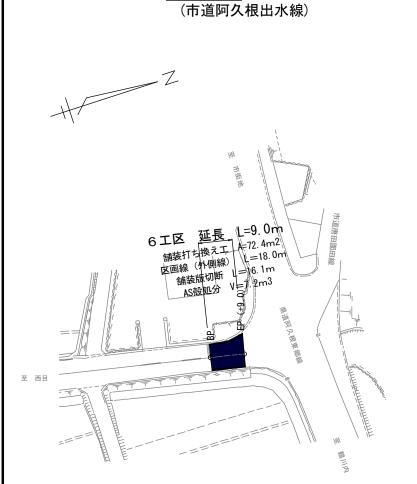
Name of the second		
	阿 久 根 市	
工事名	令和7年度 道路維持修繕事業 阿久根出水線外2線 道路舗装工事	
路線名	市道 阿久根出水線	
工事場所	阿久根市 西目 地内	
図面種類	平面図・標準断面図	
縮尺	各図参照	
図面番号	全 5 葉 第 1	号



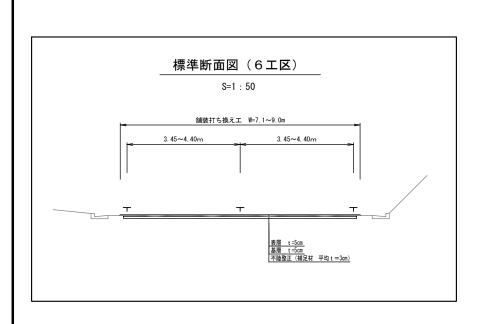


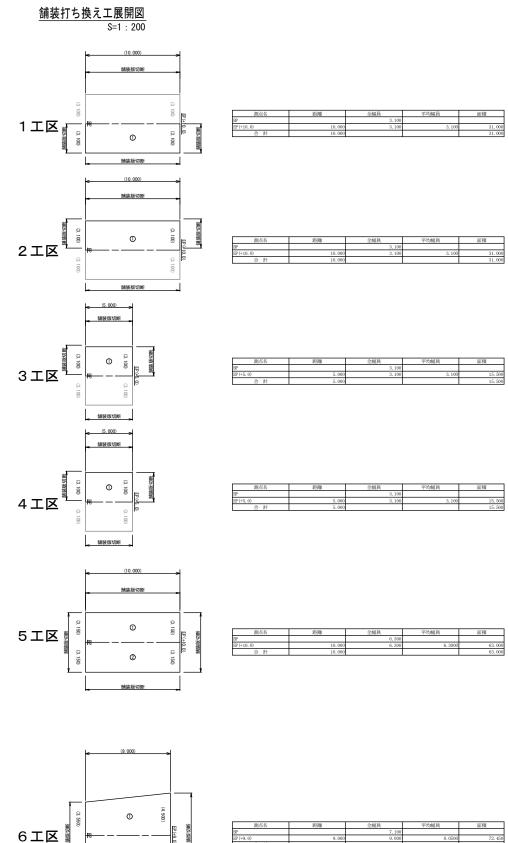


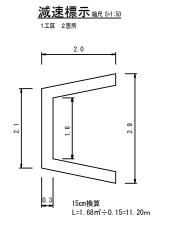
	阿 久 根 市	
工事名	令和7年度 道路維持修繕事業 阿久根出水線外2線 道路舗装工事	
路線名	市道 阿久根出水線	
工事場別	阿久根市 山下 地内	
図面種類	平面図・標準断面図	
縮反	各図参照	
図面番号	全 5 葉 第 2	号



平面図 S=1:500



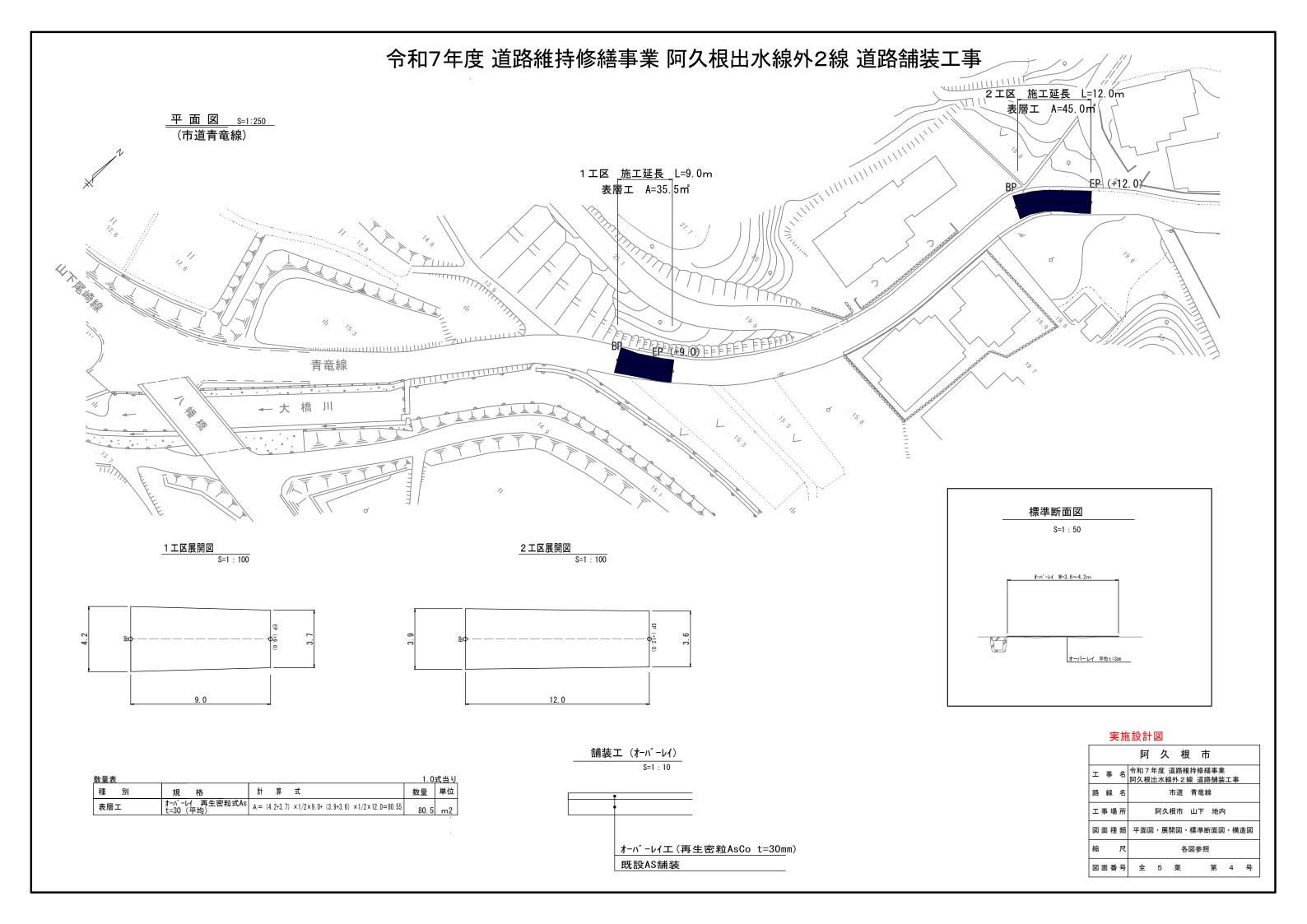


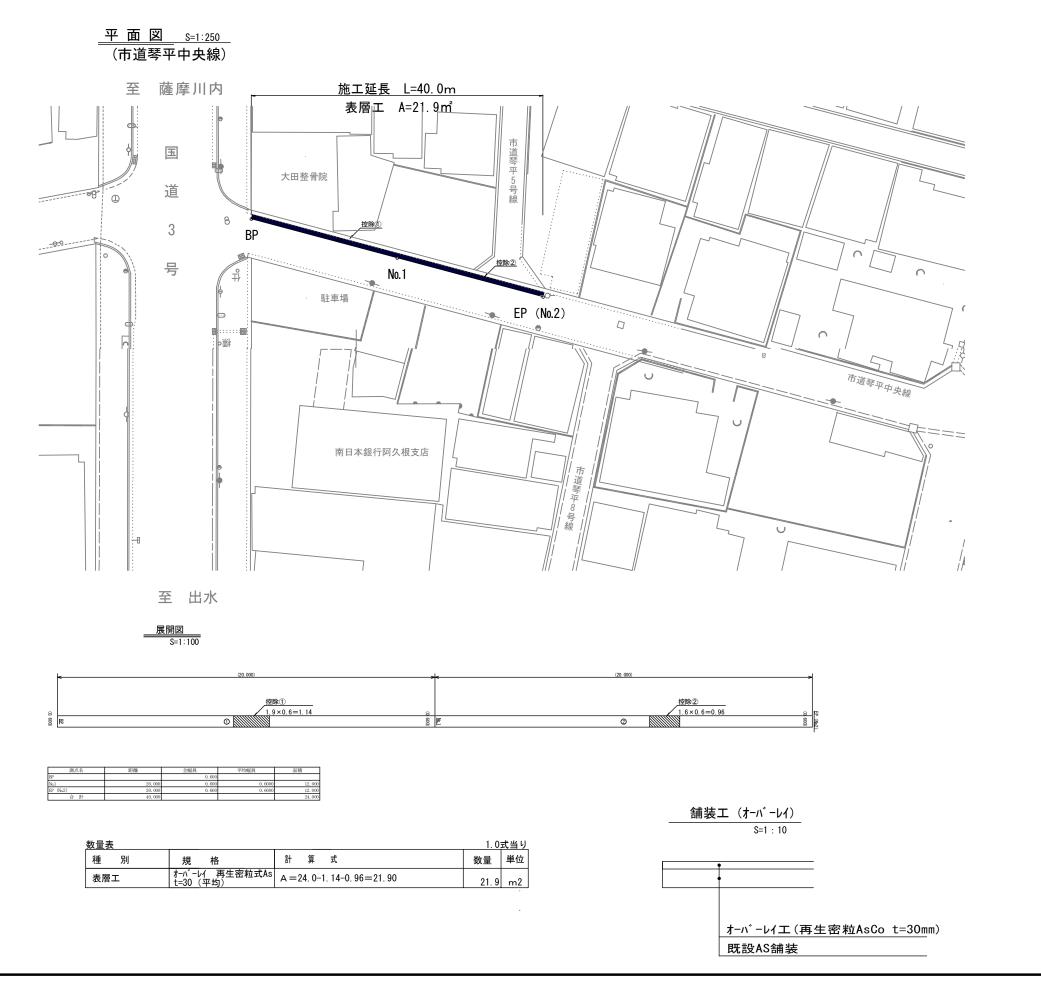


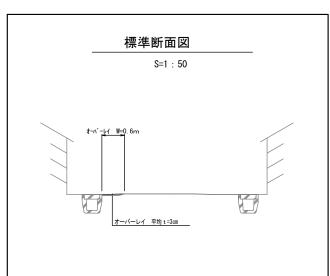


数量表			1. 0:	式当り
種 別	規格	計算式	数量	単位
舗装打ち換え工	表層工 再生密粒度AS t =5cm	31. 0+31. 0+15. 5+15. 5+63. 0+72. 4=228. 4	228. 4	m2
舗装打ち換え工	基層工 再生粗粒度AS t =5cm	31. 0+31. 0+15. 5+15. 5+63. 0+72. 4=228. 4	228. 4	m2
不陸整正	 補足材	31. 0+31. 0+15. 5+15. 5+63. 0+72. 4=228. 4	228. 4	m2
舗装版破砕	AS	31. 0+31. 0+15. 5+15. 5+63. 0+72. 4=228. 4	228. 4	m2
舗装版切断	t=10cm (想定)	26. 2+26. 2+16. 2+16. 2+32. 6+16. 1=133. 5	133. 5	m
区画線 (実線)	W=15cm	外側線 10.0+10.0+5.0+5.0+20.0+18.0=68.0	68. 0	m
区画線 (破線)	W=15cm	中央線 5.0+5.0+2.5+2.5+5.0=20.0	20. 0	m
路面標示 (マーク)	W=15cm換算		11. 2	m
路面標示(文字)	W=15cm換算		13. 2	m
AS殼処分	t =10cm (想定)	3. 1+3. 1+1. 5+1. 5+6. 3+7. 2=22. 7	22. 7	m3

	SUXUIE					
	阿	久	根	市		
工事名	令和7年 阿久根出					
路線名		市道	阿久相	艮出水線		
工事場所		阿久村	艮市 山	下 地内		
図面種類	7	西図	・展開	図・構造	図	
縮尺			各図	参照		
図面番号	全	5 }	業	第	3	号







	阿久根市
工事名	令和7年度 道路維持修繕事業 阿久根出水線外2線 道路舗装工事
路線名	市道 琴平中央線
工事場所	阿久根市 琴平町 地内
図面種類	平面図・展開図・標準断面図・構造図
縮尺	各図参照
図面番号	全 5 葉 第 5 号